



空気と社会教育

東北学院大学教養学部教授 原 義彦

教育といえば...

教育というと、まず学校教育を思い浮かべる人は多いと思います。子どもから学生までは自らが学校教育を受ける立場にあり、親になれば子どもに学校教育を受けさせる立場になります。学校教育は、人のキャリア形成はもちろんのこと、人間形成や人格形成にも大きな影響を及ぼします。人々の意識の中に、学校教育が大きな位置を占めているのは頷けることだと思います。

教育と聞いて、学校教育の次に思い浮かべるのは家庭教育かもしれません。家庭教育は、主として親による自身の子どもに対する教育のことです。子どもは意識しているかはわかりませんが、子どもの時代に家庭教育を受け、また、親になれば自身の子どもの家庭教育を行う立場になります。三つ子の魂百までといわれるように、幼少期の家庭教育がその後の人間形成や人格形成に及ぼす影響は、学校教育に優るとも劣らないものがあります。

社会教育とは？

教育にはもう一つ、社会教育といわれる活動があります。社会教育では、地域で行われる教育活動がイメージしやすいと思います。公民館などで行われる講座、趣味やスポーツなどのサークル活動などはその代表的な一例ですが、このほかにも、子ども会の活動や成人式などもあります。また、地域の文化・スポーツ行事も同じで、ラジオ体操は広い意味での社会教育になります。カルチャーセンターの講座、映画、演奏会なども社会教育ということができます。社会教育の対象は子どもから高齢者までのすべての世代であり、これは学校教育や家庭教育と大きく異なります。

さらに、社会教育は地域で行われる教育だけではありません。学校で行われる社会教育もあります。住民を対象としたスポーツ大会が学校のグラ

ウンドや体育館で行われることがあります。これは社会教育になります。また、学校で行われるPTA活動も社会教育です。高等学校や大学が行う公開講座も社会教育です。社会教育は実施主体も多様で、場所を問わず、さまざまところで行われています。

そうすると、社会教育とは一体、何なのでしょう。社会教育は「主として人間形成や人格形成を目的とした学校教育以外の組織的な教育活動」ということができます。学校教育はカリキュラムに沿って行われる教育活動のことですので、それ以外の組織的な教育活動はすべて社会教育ということになります。

空気を読む

ラジオ体操やPTA活動は、日頃、どれくらい社会教育として意識されているのでしょうか。社会教育は、私たちの身の回りに、知らず知らずのうちに入り込み、溶け込んでいます。それは、公民館活動のようにはっきりと意識されている活動もあれば、そうではない活動もあります。そして、それは人々の生活や生き方に、陰に陽に、広く深く影響を与えています。社会教育には、まるで空気のような一面があります。空気は人が生きる上で不可欠なものです。私たちは空気のありがたさを、日々、意識しているわけではありません。社会教育は、私たちのすぐそばにひっそりと佇んでいて、気づきさえすれば主体的に行うことができるものです。空気を读めるようになりたいと務める日々です。

